

令和8年度農林土木工事等の積算基準の改正について

令和8年6月
福島県農林技術課

令和8年7月1日以降に起工する農林土木工事・業務に適用する積算基準の主な改正内容は次のとおりです。

I 担い手の確保のための働き方改革・処遇改善

1. 一般管理費等率の改定【農林共通】

最新の本社経費の実態を反映し、一般管理費等率を改定します。

対象額	改正後	現 行
500万円以下の場合	25.13	23.57
500万円を超え 30億円以下の場合	$-5.21826 \cdot \log Xp$ $+60.08343$	$-4.97802 \cdot \log Xp$ $+56.92101$
30億円を超える場合	10.63	9.74

※工事原価1億円の工事の場合、120万円程度の増

2. 「週休2日確保モデル工事」試行要領【農】【林】

工事費の補正については、森林整備保全事業のみを対象としました。

補正区分を完全週休2日と月単位とします。補正係数は下表のとおりです。

なお、農業農村整備事業についても、成績評定の創意工夫や実施証明書の対象となるため、受注者希望型のみ取扱いを継続します。

費目	完全週休2日 【林】	月単位 【林】
労務費	1.02	1.02
共通仮設費率	1.02	1.01
現場管理費率	1.03	1.02

※市場単価及び土木工事標準単価についても単価毎に補正を行います。

II 公共工事に従事する者の労働環境の改善

1. 現場環境改善費【農】【林】

現場環境改善費率を改正します。

現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用について、積上げ計上される額の上限を変更しました。

また、率に計上される項目について4つを基本としました【農林共通】。

【農林技術課HP】

区分	対象額 Pi※	改正後	現 行
【農】	5億円以下 の場合	$392.8 \cdot Pi^{-0.3520}$	$504.2 \cdot Pi^{-0.3533}$
	5億円を超 える場合	0.34	0.43

※対象額 Pi は、直接工事費(処分費等を除く)+支給品費+官貸額

区分	改正後		現 行	
	大都市 市街地	左記以外	大都市 市街地	左記以外
【林】	$45.9 \cdot Pi^{-0.175}$	$32.5 \cdot Pi^{-0.202}$	$56.6 \cdot Pi^{-0.174}$	$39.9 \cdot Pi^{-0.201}$

※対象額 Pi は、直接工事費(処分費等を除く)+支給品費+無償貸付機械等評価額

対象額が5億円を超える場合は5億円とする

2. 冬期歩掛補正実施要領【農】

労務単価における補正について、工事開始日が4月～9月における工事を適用範囲に含むこととしました。

また、複数年度工事の場合における冬期補正率の算定式を新たに定めま
した。

単位:%

工事開始日 工期末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	11月	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
12月	1	1	1	1	1	1	2	3	5	-	-	-
1月	1	1	2	2	2	3	3	4	7	8	-	-
2月	2	2	2	2	3	3	4	5	6	7	6	-
3月	2	2	2	2	3	3	4	4	5	5	4	2

Ⅲ 円滑な施工体制の確保

1. 大規模災害における復興係数【農林共通】

補正係数を変更し4月1日から適用しています。

費目	補正係数
共通仮設費	1.3
現場管理費	1.1

※東日本大震災の被災地で適用する土木工事等標準歩掛（復興歩掛）及び東日本大震災の被災地で使用する建設機械の機械損料の補正については、令和6年度起工分から廃止としています。

IV その他の現場実態を踏まえた改定

1. ため池盛土工【農】

防災重点農業用ため池を対象にした改修工事が増加したことから、ため池堤体盛立工の歩掛を新規制定しています。

2. 共通仕様書（農林水産土木工事編）【農林共通】

共通仕様書（農林水産土木工事編）は主に農村整備に関する見直しを行い、4月1日から適用しています。主な改定概要は以下のとおりです。

項目		改正概要
出来形管理基準及び規格値	ほ場整備工	水路工(素掘)の項目に法勾配の追加及び規格値の設定 水路工(素掘)の高さ(H)について、算出方法の追記 二次製品水路において、縦断図が示されている場合の適用基準を明確化
	客土工事	各工種名称等の見直し 耕土搬入(部分客土)において、項目、規格値、測定基準の見直し 各工種において、整地を行う場合の適用基準を明確化
品質管理基準及び規格値	水路工(管水路埋設工・基礎及び埋戻)	現場密度測定において、路体・路床部と埋め戻し範囲が重なる場合の適用基準を明確化。
	ため池整備工(前ランダム・遮水性ゾーン、後ランダムゾーン)	土の含水比試験において、試験方法及び摘要の追記
写真管理基準	ほ場整備工事、客土工事	各工種名称等、撮影項目、撮影時期、撮影頻度を見直し

※農林土木工事ではオンライン納品は行っていません。